

平成24年度 大学地域連携事業計画

- 1. 大学地域連携課題解決支援事業（新規）** **300万円**
 - ・地域が持つ様々な課題の解決に向け、教員・学生の集団が、地域の中で、市町、地域住民、関係団体などと協働で取り組むプロジェクトを支援する。
 - ・県内19の自治体に提案・協力を呼びかける。
 - ・大学関係者の派遣等の費用として1件のプロジェクトに対して20万円支給する。
 - ・採択件数は、15件とする。
 - ・平成23年度内に、公募・審査・採択を行い、平成24年度に資金援助する。
 - ・本件事業は、滋賀県の委託事業（新しい公共支援事業）として実施するべく新しい公共の場づくりのためのモデル事業運営委員会に申請中である。（注：事業額および採択件数は、受託額によって変更する場合がある。）

- 2. 大学地域交流フェスタ事業（継続）** **50万円**
 - ・上記「大学地域連携課題解決支援事業」の各プロジェクトの成果発表会として実施する。学生支援事業の成果発表を組み込む。報告書を作成する。

- 3. 大学地域連携ネットワーク事業（新規）** **10万円**
 - ・滋賀県内の大学地域連携の取り組みの情報交換、新たな協働の可能性の追求および大学地域連携事業委員会への助言を目的に設立する。
 - ・メンバーは、趣旨に賛同する大学教職員、自治体職員およびNPO関係者とする。自治体職員については推薦依頼をして推薦された職員に委嘱する。

- 4. 地域ブランドネットワーク研究会事業（新規）** **40万円**
 - ・「滋賀・びわ湖」のブランド力向上を目指す取り組みとして実施する。
 - ・自治体職員・経済団体関係者・大学教職員の共同研究会を年間6回程度開催する。内、1回はセミオープン形式で行う。

(以上)

平成24年度 学生支援事業計画

(事業計画概要)

1. 平成24年度学生支援事業（継続事業）計画について

- ① 基本的に22年度と23年度の事業を踏襲する企画を行い、学生がより理解を深めて地域理解や提案の出来る企画を行う。
 - ② 滋賀の魅力再発見（歴史や自然以外の魅力の再発見）や学生交流企画の提案（学生が主導する交流企画など）。
 - ③ 新たな視点で留学生が地域で活動する企画。（自治体から依頼のあった留学生サポーター制度への協力など相互に良い活動となるものなど）
 - ④ その他（震災支援など継続して取り組む企画があれば、連携して活動する。）
- ※ 引き続き、滋賀医科大学が主担当大学を担うが、副担当校の立命館大学、成安造形大学と協力を深め、分担して実施する。
- ※ 基本的に22年と23年度事業を踏襲する企画とするが、学生支援事業については、その継続性や大学の垣根を越えた交流が図れる企画を取り入れる。

2. 次年度以降の考え方について

平成23年度は、基本的な事業を踏襲しつつ、新たな視点から2企画（震災支援を含む。）を展開した。しかしながら本来の学生支援事業の活動が4グループに分かれた企画としたため、それぞれの活動内容について学生から出された企画の成熟が進まなかった反省と学生交流が薄かったことから、次年度は原点に立ち返り、22年度企画を基本とするような全体として学生交流が出来る企画を事業の主体とする考え方で推進する。

3. 平成24年度学生支援事業予算（案）について

- ① 学生がより理解を深めて地域に提案出来る企画の実施 1,500,000 円
 - 会議・広報等の開催経費（300,000 円）
（学生旅費・調整費、広報費ポスター等）
 - 学生と地域住民との交流会企画（300,000 円）
 - 1泊2日研修の実施（900,000 円）
- ② 新たな視点の留学生交流、地域と連携して取り組む企画 500,000 円

(以上)

平成24年度 高大連携事業計画

平成24年度の高大連携事業として以下の企画を実施する。

企画名称：「学びへの誘い」

実施目的：高校低学年に対して大学での「学び」を大きな学問分野のくくりにおいて触れる機会を提供し、よりよい進路選択と大学入学後の「学び」を知る機会とする。

対 象：滋賀県下高校在籍1・2年生 28,000人

実 施 日：平成24年11月上中旬のいずれかの土日に実施

高校1年生は文理選択の具体化、2年生は模擬試験でも志望校判定記入の時期であり、学部、学科を具体的に考えるのには最適な時期である。
また高校の中間試験終了後、期末試験にかからない時期で設定する。

会 場：平成23年度と同様、滋賀大学彦根キャンパスと立命館大学びわこ・くさつキャンパスの2会場実施の方向で進める。

内 容：複数の大学による模擬講義を中心に、高校側の要望も考慮して企画を組み立てる。
*4月中に企画方針を策定し、それ以降は直近の幹事会で提案を行う。

スケジュール：

- 6月：企画決定
- 7月：加盟大学に参加要請および講師派遣依頼
- 9月：講師および説明会参加大学決定
- 9月中旬：高校へ案内送付
- 10月中旬：高校参加者集約・調整
- 10月下旬：高校へ最終連絡
- 11月上中旬：実施

告知方法：各高校を通じて案内

制 作 物：

- ・案内リーフレット
- ・会場誘導看板
- ・実施報告書

経 費：700,000円

講師料、印刷費、郵送料等

以上

平成24年度 就職支援事業計画

2012（平成24）年度の就職支援事業については、学生の就職支援に直結する合同企業説明会を中心とし、2011年度を踏襲した以下の事業を引き続き実施する。但し、予算や人員、企業・行政・大学の連携状況等を見極めながら、加盟大学の学生や県内企業にとって、より有効的な事業となるよう実施に取り組む。

I. 2012（平成24）年度計画事業

1. 合同企業説明会

滋賀県内の企業・事業所の優良性を広く学生に認知してもらい、より多くのマッチングを実現するために「合同企業説明会」を実施する。実施にあたっては、参加企業の誘致および当日の運営等、より円滑かつ学生にとって効果的なものを目指し、地域（滋賀県、大津市や滋賀県労働局等）との連携を取りながら、開催することとする。

開催にあたっては、過年度は環びわコンソ独自での合同企業説明会を開催してきたが、近年、多くの自治体や業者が同様のイベントを開催していることから、環びわコンソのイベントと時期や地域が重なり、あまり効率よく、かつ差別化した形での開催ができていない。

については、2012年度は、滋賀県・大津市・長浜市・米原市などの行政機関および商工会議所・ハローワーク等と連携をとりながら、各団体が開催する合同企業説明会に共催の形で取り組むこととしたい。

【開催概要】

- ◆ 対象学生：4回生および短大2回生
- ◆ 開催時期・曜日：開催団体と調整の上決定
- ◆ 開催場所：湖南地域および湖北地域で、開催団体が指定する場所
- ◆ 参加企業：開催団体と調整の上、決定する。

【概算経費】

- ◆ 共催費（各開催団体の要望に応じて支出する） 400,000円
(100,000円×4会場)

※湖北2回、湖南2回を想定

合計 **400,000円**

2. 滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会

年々変化している昨今の就職環境を踏まえ、企業の人事担当者と大学の就職担当者が交流・意見交換を行い、現状を捕まえた学生の就職支援に繋げる。本事業は、大学に企業情報と求める人材が伝わると同時に、この機会を通じてできたコネクションにより、企業と大学の距離が縮まり、マッチングの実現につなげることを目的とする。

実施にあたっては、加盟13大学の就職担当者と参加企業の人事担当者がブース形式での名刺交換・意見交換を行い、大学・企業それぞれからの意見・情報を交換する。また、各行政機関等、合同企業説明会の主催団体と連携をとりながら、企業の誘致PR等にも活用できるよう検討することとする。

開催概要は以下のとおり。

【開催概要】

- ◆ 対象：合同企業説明会に参加している企業と加盟 13 大学の就職担当者
- ◆ 開催時期：上記合同企業説明会と同日
- ◆ 開催場所：合同企業説明会と同会場（状況によっては、同会場の他スペースでの開催も検討する）
- ◆ 参加企業：50 社を上限とする
- ◆ 実施方法：加盟大学の就職担当者が、各企業のブースを訪問し、5～10 分程度の意見交換会（名刺交換および質疑応答）を実施する。1 回ごとに大学がグループを移動していき、全ての企業と名刺交換が出来るように配慮する。
※但し、参加企業数によっては、実施方法の変更も必要である。

【概算経費】

- ◆ その他雑費 10,000 円 **合計 10,000 円**
- ※ 合同企業説明会と合わせて開催するため、基本的に経費は発生しない。
- ※ ただし、上記情報交換会のための会場が必要な場合は、経費を検討し、会場費の捻出に努める。

3. 大学就職担当者間の情報交換会・研修会の実施

学生の就職支援を行っていく上で、担当スタッフの研鑽も必要不可欠となっている。また、学生のニーズ、企業のニーズが多様化している昨今では、他大学の状況についての把握も貴重な意見となる。本事業ではコンソーシアムに加盟する大学の就職担当者が一堂に集まり、外部からの講師による話題提供に基づいて意見交換を行うことにより、新たな知識の蓄積と滋賀県下における就職状況等の把握、他大学における先駆的な支援施策などを知り、今後のキャリア支援等に役立てる。開催時期、テーマ、講師の選定等については、加盟大学へのヒアリングも行いながら、検討していく。

開催概要は以下のとおり。

【開催概要】

- ◆ 対象：加盟 13 大学の就職担当者
- ◆ 開催時期：夏季（7 月～8 月頃の半日（午後））
- ◆ 開催場所：湖南地域の大学を会場とする。（2010 年度は湖南地域、2011 年度は湖北地域で開催）
- ◆ 構成：3 部制で開催する。
 - ◇ 第 1 部：外部講師（産官関係者など）による基調講演（話題提供）に基づいた意見交換会
 - ◇ 第 2 部：加盟大学からの課題提案に基づいた意見交換会
 - ◇ 第 3 部：意見交換・親睦会

【概算経費】

- ◆ 講師謝礼（交通費含む） 50,000 円
- ◆ その他雑費 5,000 円 **合計 55,000 円**
- ※ 経費については、参加大学から参加費を徴集することも検討する。

4. 学生を対象とした就職活動に活かす合同合宿イベントの実施（新規）

2011 年度については、大手企業志向の学生が多い中で、滋賀県の強みである優良中小企業の魅力を知ってもらい、学生個々の個性が活かせる就職先とはどういう企業なのかをあらためて考える機会として、外部講師を招いての講演会を開催した。2012 年度については、これをさらに発展させ、加盟大学合同での合宿イベントの実施を検討する。

この合宿イベントは、環びわコンソの加盟大学に在籍する低年次生を中心に早い段階から将来に対する高いビジョンや働くというイメージを持たせ、それに向けて取り組む姿勢

を醸成する。さらに将来的には、本イベントに参加した学生をさらに伸張させ、2～3年後に、この学生達が同イベントで低年次生を引っ張っていける環境を構築したい。

内容としては、①講演会、②大学交流座談会、③企業訪問（企業関係者の講演等を含む）を軸として実施する。

なお、実施に際しては、(社)滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業家同友会、商工会議所連合会等の協力を得たいと考える。

【開催概要】

- ◆ 対象学生：低年次生 50名程度（バス1台分）
- ◆ 開催時期：夏期休暇期間（1泊2日）
- ◆ 開催場所：未定
- ◆ 構成案：
 - 1日目 講演会
大学交流座談会
 - 2日目 企業訪問バスツアー
- ◆ 協力：(社)滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業家同友会、商工会議所連合会等の関係者

【概算経費】

- | | | |
|---------------|-------------|---------------------|
| ◆ 講師謝礼（交通費含む） | 10,000 円 | |
| ◆ 貸し切りバス代 | 50,000 円×1台 | |
| ◆ 宿泊費 | 3,000 円×50名 | |
| ◆ 食事代 | 2,000 円×50名 | |
| ◆ その他雑費 | 20,000 円 | |
| | | 合計 330,000 円 |

※参加学生から、参加費として1,000円程度徴収する予定

II. 事業計画・実施スケジュール

◆全体

2012年4月17日（火）に2012年度第1回就職支援事業委員会を開催し、各事業の主担当校・副担当校の決定など、今後の方向性について検討を行う。その後、各事業における主担当校・担当校を中心とし、計画・実施していく。

1. 合同企業説明会

4月中を目処に、滋賀県・大津市・長浜市・米原市などの行政機関および商工会議所・ハローワーク等を訪問し、各機関が開催する合同企業説明会の実施日および開催場所等についての情報収集、および、協力依頼を行う。その後、日程の調整等を行い、共催イベントを決定し、学生への周知に注力する。

2. 滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会

過年度実施内容をベースに、上記『合同企業説明会』に付随するかたちで、企業、大学および学生にとってより有効なものとなるよう、開催日・実施方法等について、検討を行う。

3. 大学就職担当者間の情報交換会・研修会の実施

夏季期間（8月末予定）に湖南会場（湖南地域大学施設、または、環びわ湖大学・地域コンソ

ーシウム事務局)にて開催することを軸とし、主担当校を中心に検討を進めていく。テーマ、講師の選定等については、加盟大学へのヒアリングも行う予定。

4. 学生を対象とした就職活動に活かす合同合宿イベントの実施

主担当校を中心に、まずは企画の立案、6月下旬頃の募集開始および夏期休暇期間(9月頃)での開催を目指す。開催施設としては、以下の施設を候補に、プログラム内容および予算を勘案しながら、検討していく。

【開催施設候補】

- ・ 希望が丘文化公園 青年の城 (蒲生郡) @ ¥740 (県内居住者)
- ・ 長浜ドーム宿泊研修館 (長浜市) @ ¥3,900
- ・ 海津天神社ユースイン (高島市) @ ¥3,750

平成24年度 単位互換事業計画

事業計画

(1) 平成24年度の単位互換科目の提供

平成23年度の事業計画で、次年度の受講者数の増加方策として、夏期や土曜の集中開講科目の提供、サテライト教室での開講、滋賀らしい科目の開発・提供及び参加大学での積極的な広報活動を、参加大学に要請してきた。

平成24年度の単位互換科目(予定)は、別紙の「2012年度 開講科目一覧」のとおりであり、参加大学の特徴的な科目、集中開講の科目、滋賀らしい科目などの科目の提供があったが、前年度より3科目少ない65科目となった。

なお、夏期や土曜の集中開講の科目、滋賀らしい科目、フィールドワークを取り入れた科目、eラーニングを取り入れた科目など、次表のような特徴的な科目を提供する。

科目名	開講形態	科目の特徴
日本の歴史(e-learning)	秋学期	eラーニング
近江の歴史	夏期集中	滋賀らしい科目(滋賀県教育史)
近江のくらしと文化(彦根・湖東学)	秋学期集中(土曜4回)	滋賀らしい科目(彦根・湖東:市政、歴史、文化、自然等) フィールドワーク(彦根市周辺、古民家、自然遺産、多賀、佐目の風穴等)、ワークショップ
滋賀大学で環境を学ぶ	秋学期	滋賀らしい科目(滋賀県・琵琶湖:環境)
地域論	後期	滋賀らしい科目(滋賀県:地域、生活、文化) 受講生による調査と発表
環境を考える	前期	滋賀らしい科目・フィールドワーク(びわこ博物館)、ワークショップ
地域文化概説	春学期	滋賀らしい科目(近江・湖北:地理、歴史、記紀神話、万葉集、仏教文化、街道と物語、紀行文)
近江学B	通年(土曜不定期)	滋賀らしい科目(近江学:自然環境、芸術、歴史、民族、思想、ものづくり)
滋賀論	前期集中	滋賀らしい科目(滋賀県、琵琶湖:歴史、神話、産業、文化等) クルージング(琵琶湖一周)
東近江の地域学	後期	学長、東近江市長、市関係職員の講義 滋賀らしい科目(東近江:市政、教育、産業等)
滋賀の環境	後期	滋賀らしい科目(自然、生物、環境、生活) 博物館見学
地域歴史学	後期	滋賀らしい科目(近江・東近江:歴史、史跡、生活)
社会人類学	後期	滋賀らしい科目(大津市大萱:歴史、環境、生活)
びわ湖・滋賀学	後期	滋賀らしい科目(滋賀県・琵琶湖:食文化、集水域の暮らし、農業、産業)
ODA・国際援助論 E	夏期集中	
経営と女性 B	夏期集中	

(2) 平成25年度の単位互換科目の提供

平成24年度に引き続き、その大学の特徴的な科目及び滋賀らしい科目の提供するほか、受講者数の増加を図るため、集中開講の科目やサテライト開講の科目の提供及び積極的なPRを行う。

別紙

〔 2012年度 開講科目一覧 〕

科目提供大学	科目番号	科目名	回生	単位互換定員	開講期間	曜日	時限	単位
滋賀大学	01	日本の歴史	1以上	10名程度	春学期	火	3	2
	02	日本の歴史(e-learning)	1以上	10名程度	秋学期	月	4	2
	03	生活と企業	1以上	10名程度	秋学期	水	2	2
	04	情報学への招待	1以上	10名程度	春学期	水	2	2
	05	近江の歴史	1以上	10名程度	春学期(集中)			2
	06	国際化と東アジアを考える	1以上	10名程度	春学期	月	5	2
	07	近江のくらしと文化(彦根・湖東学)	1以上	10名程度	秋学期(集中)			2
	08	滋賀大学で環境を学ぶ	1以上	10名程度	秋学期	木	1	2
滋賀医科大学	09	医学概論I	1以上	15名	前期	木	2	2
	10	医学概論II	1以上	15名	後期	木	2	2
	11	臨床心理学	1以上	不問	前期	火	5	2
	12	臨床コミュニケーション学	1以上	30名	前期	金	3	2
	13	地域論	1以上	不問	後期	木	4	2
滋賀県立大学	14	睡眠学概論	1以上	10名	前期	金	1	2
	15	環境マネジメント総論(人間文化学部・人間看護学部)※1	指定なし	10	前期	月	1	2
滋賀短期大学	16	環境マネジメント総論(環境科学部・工学部)※1	指定なし	10	前期	月	2	2
	17	環境を考える	1以上	若干名	前期	木	1	2
	18	メディアと教育	1以上	若干名	後期	火	1	2
	19	子どもの心理学 I ※2	1以上	若干名	前期	火	2	2
	20					火	3	
	21	子どもの保健 I b ※2	1以上	若干名	後期	金	1	2
	22					金	2	
	23	秘書学概論※2	1以上	若干名	前期	水	1	2
	24					水	4	
	25	秘書実務 I	1以上	若干名	前期	金	1	1
滋賀文教短期大学	26	秘書実務 II	1以上	若干名	後期	金	4	1
	27	書道 I	1以上	若干名	春学期	火	3	2
	28	書道 II	1以上	若干名	秋学期	火	3	2
成安造形大学	29	地域文化概説	1以上	若干名	春学期	火	2	2
	30	美術理論	1以上	10名程度	前期	火	1	2
	31	文化史A	1以上	10名程度	前期	木	2	2
	32	文化史B	1以上	10名程度	後期	木	2	2
聖泉大学	33	近江学B	1以上	10名程度	通年	土	2	2
	34	滋賀論	1以上	若干名	前期集中			2
長浜バイオ大学	35	基礎微生物学	1	10名	前期	月	5	2
	36	基礎生物学	1	5名	前期	月	2	2
	37	細胞生物学 I	1	5名	後期	金	2	2
	38	遺伝子工学	2	5名	後期	水	5	2
びわこ学院大学	39	東近江の地域学		10名程度	後期	火	1	2
	40	滋賀の環境		10名程度	後期	火	1	2
	41	ビジネスコミュニケーション(※短大部科目)		不問	後期	火	1	2
	42	人間福祉概論		不問	後期	木	1	2
	43	特別支援保育論	2以上	10名程度	後期	火	2	2
	44	特別支援教育論	2以上	10名程度	後期	火	4	2
びわこ成蹊スポーツ大学	45	地域歴史学		10名程度	後期	火	4	2
	46	衛生・公衆衛生学	1	若干名	前期	木	3	2
	47	障害者スポーツ概論	1	若干名	前期	火	1	2
	48	スポーツバイオメカニクス	1	若干名	後期	火	2	2
龍谷大学	49	社会人類学	2以上	10名	後期	月	2	2
	50	教養教育科目特別講義A「里山学入門」	指定なし	10名	前期	月	3	2
	51	環境と人間A	2以上	20名	前期	月	4	2
	52	社会保険論	3以上	5名	前期	火	4	2
	53	広報論	2以上	10名	後期	水	2	2
	54	生活の中の数学	指定なし	15名	前期	水	3	2
	55	びわ湖・滋賀学	2以上	不問	後期	木	1	2
	56	人間の心理と発達	2以上	不問	前期	木	3	2
立命館大学	57	ODA・国際援助論 E	3以上	10名程度	夏期集中	未定	未定	2
	58	経営と女性 B	1以上	10名程度	夏期集中	未定	未定	2
	59	キャリア開発 B	1以上	20名程度	後期	未定	未定	2
	60	心理学入門 TA	1以上	20名程度	前期	未定	未定	2
	61	現代社会と法 TA	1以上	10名程度	前期	未定	未定	2
	62	現代の国際関係と日本 C	1以上	10名程度	前期	未定	未定	2
	63	生命科学と倫理 MA	1以上	10名程度	前期	未定	未定	2
	64	スポーツと現代社会 V	1以上	10名程度	後期	未定	未定	2
65	スポーツ史 V	1以上	10名程度	後期	未定	未定	2	

※1 両科目とも同じ内容のため、どちらか1科目しか受講できません。1時限は文系向け、2時限は理系向け。

※2 同じ内容のため、複数曜日時限のうち、1科目しか受講できません。

* 開講科目が変更される場合もありますので、期間・曜日・時限を含め、必ず所属大学・短期大学で確認してください。

* 単位互換定員が「不問」となっている科目は、教室の収容数によって選考する場合があります。

平成24年度広報事業計画

1. 事業計画

ホームページ、リーフレット作成を継続して行うと共に、諸事業を推進するための広報事業を行う。また、成果発表の場としてのシンポジウムやフォーラムの広報支援や、加盟大学・短期大学の学生募集への貢献など適切な広報活動を展開する。

(1) ホームページの管理・運営

諸事業の展開を支援する広報事業として情報提供を行う。

また、コンソーシアム事業の紹介や、滋賀県内の大学・短期大学の魅力をアピール発信することに取り組む。

(2) 広報資料の作成・配布

平成23年度に作成した、滋賀県内の大学で学ぶことの魅力を紹介したリーフレット「CAMPUS LIFE IN SHIGA 滋賀でデッカく学ぼう！」を増刷し、県内高等学校を中心に、近隣府県の高校、大学、自治体、経済界、NPO、全国コンソーシアム組織へも配布する。また、県外での催し物などの機会を活用して、コンソーシアムのPRにも活用する。

(3) オリジナルロゴの活用

コンソーシアムのロゴを各種広報物やホームページに掲載し、コンソーシアムの浸透を図る。

(4) 事業委員会、大学・短期大学と連携した広報活動

大学・短期大学、各事業委員会と連携しながら広報活動を進める。また、行政の広報媒体の活用やパブリシティに力を入れるなど積極的な広報活動を行う。

2. 予算

・ホームページの管理・運営	150,000円
・広報資料の作成・配布	450,000円
(計)	600,000円